和歌	·····································	等専門学校	交 開講年度	令和02年度 (2	2020年度)	授業科目	量子力学		
科目基	礎情報								
科目番号		0016			科目区分		専門 / 選択		
授業形態 授業				単位の種別と単位	拉数 学修単位	<i>I</i> : 2			
		エコシフ	Lコシステム工学専攻		対象学年	専1			
開設期前期		前期			週時間数	2			
教科書/教材 上羽弘			「工学系のための量-	子力学」森北出版		•			
担当教員	Į	孝森 洋	介						
到達目	標								
波動関 解析する	数や演算子が 事ができ、 <sup>-</sup>	などの量子だ その結論(	カ学の基本概念を踏 トンネル効果やエネ	まえて、自由粒子や ルギー準位)を理解	#押型ポテンシャル することができる。	レ中の粒子などの	D簡単な系に波動方程式をあてはめて		
ルーブ	リック								
				理想的な到達し			ベルの目安		
評価項目	1								
学科の	到達目標項	頁目との関	<b>身係</b>						
JABEE C									
教育方	 法等								
20世紀初頭、黒体輻射や光電効果などの古典物理学では解決不能だった諸問題が、やがて量子問の建設により解決されていく過程を学ぶ。その後、シュレティンガー方程式など量子力学の基本概要 な系の量子力学的取り扱いについて学習する。さらに、原子スペクトルなどいくつかの現実の物理子や原子の世界からマクロな物質まで、量子力学が世界を統一的に理解していくための現代物理学事を理解する。						ビ量子力学の基本的な諸概念と、簡単 つかの現実の物理系に例を取って、電 こめの現代物理学の重要な手段である			
授業の進	め方・方法	教科書に	したがい授業を進める。授業は座学と演習にわけ座学で学んだことをより理解するための演習を行う。この科修単位科目のため事前事後学習として課題を実施する。						
注意点		予習・復	夏習をするよう努め?	<b>ა</b> .					
授業計	画		_						
		週	授業内容			週ごとの到達目標			
前期		1週	量子力学の考え方が現れた背景(比熱)						
		2週	量子力学の考え方が現れた背景(比熱、空洞輻射)						
		3週	量子力学の考え方が現れた背景(Planckの公式)						
	1stQ	4週	原子の構造とボーアの理論(スペクトル、定常状態)						
		5週	原子の構造とボーアの理論(量子条件)						
		6週	電子波の仮説と波動方程式(物質波)						
		7週	電子波の仮説と波動方程式(Schrodinger方程式)						
		8週 9週	自由粒子						
		10週	# 井戸型ポテンシャル # 井戸型ポテンシャル						
		11週	トンネル効果						
		12週	トンネル効果						
	2ndQ	13週	調和振動子						
		14週	調和振動子						
		15週	水素原子						
		16週	ואאאוו						
エデル.	コアカリー		」 D学習内容と到達						
<u>し フ ル</u> 分類	<u> </u>	<u>アユ フムの</u> 分野	学習内容	<u>■ロ1宗</u>     学習内容の到達目			到達レベル 授業週		
評価割		/ノ) ± j′	TEI13121	ナロにコロック対连日	'IK		ゴ)圧レ′ ソレ   〕又未週		
6十1四台》			期末試験		□≡甲早百		合計		
総合評価割合 60					課題 40				
							100		
基礎的能	ال/دَ		טסן		40  100				